

和華蘭の窓

和華蘭（わからん）とは日本・中国（東洋）・オランダ（西洋）がミックスした長崎独特の文化様式を表現する言葉です。



タチアオイ 川原慶賀画, 川原廬谷校『草木花実写真図譜』より（経済学部分館所蔵）

特集 附属図書館にかかわる教員の役割

この号の内容	掲載ページ
特集 附属図書館にかかわる教員の役割	2
附属図書館の組織と会議	3
委員からひとこと 松山俊文教授 “If you build it, he will come”	4
“ ” 勝俣隆教授 「紙って本当に要らないの？」	5
機関リポジトリってなに？	6
古写真・グラバー図譜新データベース完成！	7
図書館ガイダンス受けた？ 1年生1202名が受講, 医学・経済でも	8～9
論文作成に役立つデータベースのご紹介① SCOPUS, CiNii	10
長崎大学の先生方が書かれた本をいただきました	11
情報スクランブル	12

附属図書館にかかわる 教員の役割

～教育者として，研究者として～

長崎大学の「附属図書館」は，誰が運営しているのでしょうか？

学生の皆さんが図書館へ来たときに，カウンターに座っているのは図書館職員です。司書の仕事をしています。しかし，図書館には皆さんの目に触れない重要な仕事がたくさんあります。

実は，図書館の運営にはたくさんの教員＝先生方がかかわっています。今回は附属図書館の運営に関わる教員の役割を中心に紹介します。

附属図書館の運営方針の決定 ～図書館として何をなすべきか？～

図書館はただ本を置いて貸し出しているだけの建物ではありません。学生の学習や教員の研究に大切なものは何か，地域のためには何ができるか，を常に考えている組織です。

長崎大学附属図書館として何をなすべきかという運営方針は，附属図書館委員会で決められます。会議は時間のムダ，という考え方もありますが，附属図書館では会議によって，サービスに直接関係のある重要な事項が検討されます。

学生懇談会の開催…学生と図書館の橋渡し

学生の皆さんの声を聞くための附属図書館の学生懇談会。このお世話をして下さるのも委員の先生方です。特に，平成17年度から文教地区ではよりきめ細かく意見を出してもらうために，学部別の学生懇談会を開いています。部局図書委員の先生を含む多くの先生方のご協力により実現しました。

学生懇談会(平成17年度)開催記録

- 10/ 7 医学分館学生懇談会
司会：中村 三千男先生
- 10/17 経済学部分館学生懇談会
司会：柴多 一雄先生
- 10/18 工学部学生懇談会
司会：林 秀千人先生
- 10/20 教育学部学生懇談会
司会：勝俣 隆先生
- 10/20 薬学部・水産学部合同学生懇談会
司会：中村 純三先生
- 10/24 環境科学部学生懇談会
司会：杉山 和一先生
- 11/24 文教地区学生懇談会
司会：長澤 多代先生



学生・研究者・地域に貢献する 附属図書館の組織と会議

長崎大学附属図書館委員会

附属図書館の事業計画・予算など管理運営やサービスに関する重要な事項を話し合い、決定する最高会議。

医学分館運営委員会・経済学部分館運営委員会

それぞれの分館の運営やサービスについて考える。分館で購入する図書・雑誌等の資料の選定も行う。

広報専門委員会

広報誌等の発行、ホームページの管理運用などを含め、皆さんに図書館を活用していただくためにどんな広報をしたら良いかを専門的に考える。

収書専門委員会

図書館にどんな図書・雑誌などを置くようにしたらよいか、という収書方針や収書計画を専門的に考える。また、中央館の学生用図書の選定を行う。教員が推薦した図書や、学生の皆さんがリクエストした資料を買うかどうか決定するのもこの会議。

学術情報コンテンツ運用小委員会

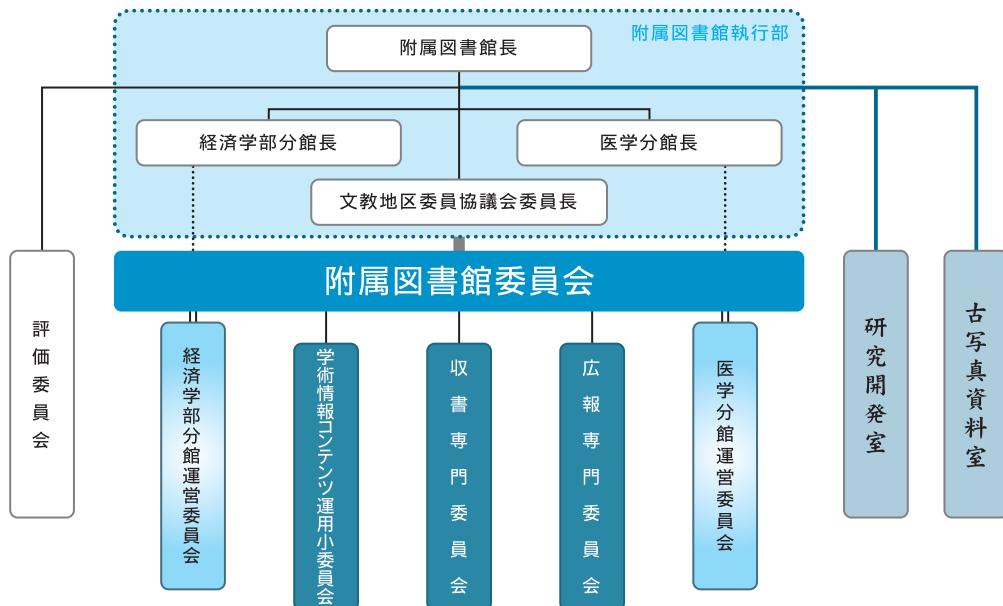
長崎大学が契約する電子ジャーナル、文献情報データベースなど、電子的資料の導入や見直しについて考える。

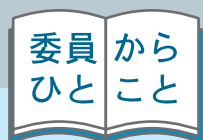
長崎大学附属図書館委員会委員及び専門委員会等委員名簿

平成18年4月1日現在

	部局等	職名	氏名	*専門委員会等
附属図書館委員会委員	附属図書館長	教授	岡林 隆敏	評価,学術
	医学分館長	教授	中村 三千男	広報,評価,学術
	経済学部分館長	教授	上野 清貴	収書,評価,学術
	情報メディア基盤センター長	教授	本多 正幸	
	生涯学習教育研究センター長	教授	小原 達朗	
	留学生センター長	教授	小路 武彦	
	教務委員会委員	教授	高橋 正克	収書
	教育学部	教授	勝俣 隆	評価,学術
	経済学部	教授	嶋野 武志	広報,学術
	医学部	教授	松山 俊文	学術
	歯学部	教授	戸田 一雄	
	薬学部	教授	中村 純三	収書
	工学部	教授	林 秀千人	収書,学術
	環境科学部	教授	中村 剛	収書
	水産学部	教授	橋本 惇	広報
	生産科学研究科	教授	香川 明男	
	医歯薬学総合研究科(兼)	教授	松山 俊文	
	熱帯医学研究所	教授	門司 和彦	学術
	学術情報部	部長	洲上 光明	広報,収書,評価
	部局委員	教育学部	講師	中島 貴奈
医学部		助教授	高村 昇	収書
医学部(保健学科)		教授	中島 久良	収書
歯学部		教授	中村 卓	学術
薬学部		教授	河野 功	学術
工学部		助教授	木村 祥裕	広報
環境科学部		教授	山下 樹三裕	学術
環境科学部		助教授	連 清吉	広報
水産学部		教授	金井 欣也	収書
水産学部		教授	松林 法寛	学術
学術情報部学術情報管理課	課長	益森 治巳	収書	
学術情報部学術情報サービス課	課長	能村 浩次	広報	

* 広報=広報専門委員会委員 収書=収書専門委員会委員
 評価=評価委員会委員 学術=学術情報コンテンツ運用小委員会委員
 (太字は委員長)





If you build it, he will come

附属図書館委員会委員 医歯薬学総合研究科教授 松山 俊文

自ら志願した図書委員

図書委員を拝命して今年で10年目になります。実はこの図書委員の仕事は自ら志願して始めました。理由は私が赴任した1996年の時点では、医学生物学関連の一流誌のいくつかが医学分館に入っていなかったことにあります。研究を充実させるという目標からすると、かなりかけ離れた状況にあるというのが私の第一印象でした。

電子ジャーナルの導入

幸い多くの方々のご理解を得て満足できる状況になってきましたが、特に大きかったのが電子ジャーナルの積極的な導入であります。導入にあたっての中村卓元医学分館長を始めとする学内委員の方々、そして図書館事務の方々の努力を忘れることはできません。ずいぶん和侃々諤々の議論が行われましたがこうして振り返ってみると良い形で導入ができたのではないかと考えております。

If you build it, he will come

今後、市場原理を優先する電子ジャーナル提供雑誌社との関係がどのようになっていくか先行き不透明な部分もありますが、この電子ジャーナルへの取り組みの姿勢こそが大学の教育、研究への矜持を示すという意味は将来も変わらないと考えております。If you build it, he will comeは映画Field of Dreamsの中の言葉ですが、図書館という空間（それが例えばバーチャルであっても）を提供する時にも通じる言葉であります。

雑誌バックナンバーの保管・管理

一方で電子ジャーナルの導入によって図書館のありかたも変わりつつありますが、考えておかなければいけないのは雑誌を保管、管理するという図書館本来の機能は今後も必要であろうということです。



ほとんどの雑誌は、大体1998年以降は原稿ファイルから直接PDF化する作業が行われていますので、PDFであっても非常に鮮明な図、写真を得ることができます。しかしそれ以前の論文については、雑誌に掲載されたものをスキャンしてからPDF化したと思われる、質が劣るものが多く見受けられます。とすれば、雑誌に関して言えば、今後の図書館に必要なのは最近の雑誌の展示ではなくて1998年以前の雑誌の保管、管理ということになってきます。スペースのことも考えれば将来は、最新の（とまでは言わずとも一年過ぎた）雑誌はすべて廃棄という皮肉なことも起こってくるのかもしれない。

Topic

部局図書委員会

附属図書館の組織ではありませんが、各学部等にも図書委員の先生方がいらっしゃいます。学生・研究者に密着した視点から選書や学生懇談会に協力していただいています。文教地区では、昨年度から年1回、部局の図書委員会を附属図書館内で開催していただき、図書館の設備や資料の整備状況を見ていただくようになりました。



紙って本当に要らないの？

附属図書館委員会委員 教育学部教授 勝俣 隆

電子化の波

附属図書館委員を15年間務めているが、図書館を取り巻く環境は大変貌した。最大の变化は電子化の波で、紙雑誌に代わって電子媒体の利用が学問全体では主流になりつつある。ただ文系では必ずしも電子化一辺倒ではなく、専門の国文学の和雑誌は940誌ほどあるが、電子化率は1%未満で、今後も早急に進む兆候は見られない。委員会で理系の先生から雑誌は電子媒体だけで十分だという議論を聞く度に違和感を覚えている。

紙と電子の画面って同じもの？

コンピューター画面で読むのと、紙で読むのとは、似て非なる行為ではないかという思いが打ち消せない。コンピューターで作成した時気づかない過ちを紙に打ち出すと気づくのは何故か。精緻な考察には電子媒体は向かないのではないか。コンピューター画面の文字列と紙の文字列を読む時には、脳の働く場所が異なるのではないかとさえ思う。だから電子媒体があれば紙媒体は要らないという議論には危惧を感じる。

狭過ぎる日本の図書館

紙を嫌がる理由の一つが図書館の狭さにある。それなのに大きな図書館を日本は作ろうとしない。カナダの留学生が長大図書館は母国マギー大学図書館の十分の一の大きさしかないと言った言葉が印象に残っている。長大は3館で100万冊弱の蔵書しかないが、私が訪れた海外の大学では、ケンブリッジ大学が650万冊収容の壮大な本館の他100の図書館があり総計1000万冊以上、オックスフォード大学も同規模で、日本文学コーナーには長大よりずっと多くの日本の文学書や研究書が並んでいた。1450万冊のハーヴァード大学や270万冊の台湾大学の図書館は、建物の立派さで



も全学で800万冊の東大や京大の図書館を凌ぐ。特に、ケンブリッジ大学やオックスフォード大学は英国で発行される年間11万冊の図書を無償で入手できる特権を持つ。日本では国会図書館に納本制度があるが、大学にはなく、蔵書1000万冊を越える図書館は皆無である。

紙あってこそ図書館

大英図書館には1800万冊以上の図書があるが、その日本文学担当者も電子化には非常に慎重で紙を大事にしたいということであった。電子化はある意味で図書館の自己否定でもあるから、極論すれば、そのうち日本からは紙を重視している国会図書館や東北大等以外の図書館は消えて、海外から出版物を借り、海外の電子情報に頼りきる時代が来るのではないかとさえ思う。私の蔵書も将来、日本の大学で廃棄されるより、海外の大学に寄贈し大切に保管してもらう方が幸せではないかと思う昨今である。

Topic

附属図書館あり方懇談会

「法人化以後の長崎大学附属図書館はどうあるべきか？」というテーマで、平成17年度に5回の会合が持たれました。メンバーは教員と図書館職員合わせて16名からなり、懇談の内容は提言として発表が予定されています。

機関リポジリってなに？

長崎大学附属図書館では、機関リポジリの構築を行っています。

機関リポジリとは

大学等の学術機関で生産された電子的な知的生産物（学術雑誌掲載論文、学位論文、プレプリント、科学研究費報告書、COEプログラム研究成果、講義資料・教材、学会発表資料などの学術情報）を収集・保存し、広く効果的に発信して、世界中の誰もが自由にアクセスできるように公開するシステムです。

- ・大学の先生や、学生の方の学術研究成果を保存するデジタルの保管庫です
- ・大学の先生や、学生の方の学術研究成果を公開する、効率的な情報発信基地です
- ・リポジリに学術研究成果を保存・公開することで、研究の可視性が高まり、大学の説明責任を果たすことなどができます

大学内で生産された学術研究成果を蓄積し公開する試みは、国外の多くの大学ですで行われています。日本では、主に昨年度から、国立情報学研究所の委託を受けた先進的な大学がリポジリの構築に取り組み、長崎大学も機関リポジリを構築し試験公開しています。

国内のリポジリ一覧：<http://www.nii.ac.jp/irp/info/list.html>

長崎大学機関リポジリ：<http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp:8080/dspace/>

現在はまだ搭載している学術情報は多くありませんが、今後、先生・学生の方にご協力いただきながらコンテンツを充実させ、世界中からアクセスされるリポジリの構築に努めていきます。



長崎大学 学術研究成果リポジリ（仮称）

オープンソースのDSpaceを利用して構築

古写真・グラバー図譜新データベース完成!

長崎大学附属図書館では6月20日(火)に、平成17年度に新たに完成した二つのデータベース、「幕末・明治期日本古写真メタデータ・データベース」及び「グラバー図譜メタデータ・データベース」についての完成披露式及び記者発表会を行いました。

これまでも附属図書館は所蔵している貴重資料コレクションを電子化して公開してきました（「長崎大学附属図書館所蔵電子化コレクション」http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/old_pic/index.html）。その中で「幕末・明治期日本古写真コレクション」及び「グラバー図譜」のデータベースは、公開以来、前者が77万件以上、後者が9万件以上のアクセス数を誇り、この種のデータベースとしては最多なものとなっています。海外からのアクセスが非常に多いのも特徴です。

今回は、これまでのデータベースからデータを引き継ぎながら、国際標準化したメタデータ（データそのものではなく、データに関する事項を記したデータのこと）を新たに付与することによってデータベースの再構築を図りました。また、データの追加、検索機能の強化、画面デザインを一新するなどのバージョンアップも行っています。

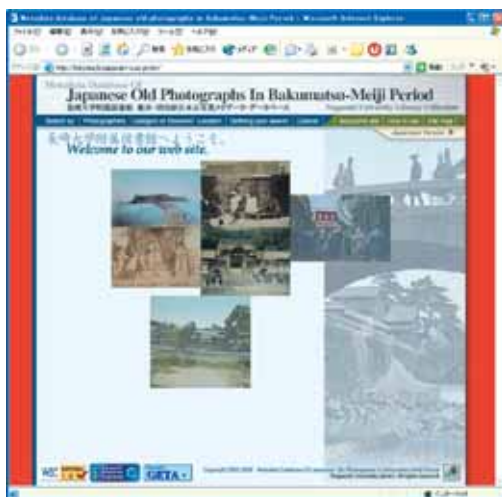
メタデータ化により、インターネット上の様々な学術情報検索サイトへ、貴重資料コレクションの情報が発信できるようになり、発信された情報を介して、逆にそれらの検索サイトから長崎大学の古写真画像を検索できるようになります。



【齋藤学長】

当日は齋藤学長の挨拶の後、岡林附属図書館長からデータベースの概要説明が行われ、引き続き、実際にデータベースを操作してのデモンストレーションが行われました。

会場には新聞やテレビのマスコミ各社が取材に訪れ、質疑応答では記者からの熱心な質問も見受けられるなど、その関心の高さが伺えました。



幕末・明治期日本古写真DB



グラバー図譜DB

☆「幕末・明治期日本古写真メタデータ・データベース」

URL <http://hikoma.lb.nagasaki-u.ac.jp/jp/>

☆「グラバー図譜メタデータ・データベース」

URL <http://hikoma.lb.nagasaki-u.ac.jp/GloverAtlas/>

図書館ガイダンスを受けた?

1年生1202名が受講 教養セミナー「資料収集ガイダンス」



〔情報検索実習〕

中央図書館では、平成18年4月17日から5月30日までの第5校時に、教養セミナー（学部1年生が受講）のクラスを対象とした「資料収集ガイダンス」を開催いたしました。

4年目の今年は113クラス、1,202名のお申し込みをいただきました。

ガイダンスでは、まず30分程度の中央図書館館内ツアーを実施し、図書館の利用方法の説明や、書庫などの施設をご案内しました。その後、情報検索実習としてOPAC（蔵書検索）、WebcatPlus、

各種データベースや電子ジャーナルをご紹介し、簡単な検索課題にも取り組んでもらいました。

医学部や経済学部の皆さんにも中央図書館をご覧いただける、貴重な機会となりました。

（参考調査担当）

医学分館ガイダンス状況

館内ツアー

医学分館では毎年4月のはじめに、医学科・保健学科の新入生（約200名）を対象に20分程度の館内ツアーを行っています。これは実際に図書館の中を歩いてもらいながら、図書館の利用法や館内配置等を案内する施設紹介です。

図書館利用ガイダンス

医学科の新入生に関しては、その後「医と社会」という授業の1コマを使ってより詳しい図書館利用ガイダンスを行っています。今年度は4月18日（火）に医学分館2階閲覧室において行いました。去年に引き続き大学教育機能開発センターの長澤多代先生の「図書館の利用法」という図書館全体像についての講義のあと、医学分館の利用案内・OPAC（蔵書検索）の使い方・図書館の各種サービスの利用方法・その他医学系のデータベースや電子ジャーナルの紹介等を行いました。ガイダンスの最後には、医学分館で所蔵している貴重資料の紹介ということで、貴重図書室の見学時間を設けていますが、これが毎年大好評です。



〔館内ツアー風景（中央図書館）〕

文献検索ガイダンス

医学科3～4年生がリサーチセミナーを開始するにあたってのオリエンテーションの中で、文献検索の方法を中心としたガイダンスを行っています。今年度も文献検索の実際から文献の入手、また引用文献などの講義を予定しています。

（医学情報担当）

「教養セミナー経済学部分館図書館ガイダンス」186名が参加

経済学部分館では、本年度より経済学部新入生のために、「教養セミナー経済学部分館図書館ガイダンス」を正式に開始しました。昨年度も先生方からの依頼を受け、その都度実施していましたが、本年度からは正式にメール等で広報してガイダンスを開始しました。

4月～5月の2か月で、17クラス186人の参加があり、夜間主コースの学生のためには、授業時間に合わせて19：40～21：10のスケジュールで実施しました。

標準的な実施メニューは授業1コマ(1時間30分)で、①書庫を含む**館内案内**、②長崎大学附属図書館ホームページを利用した**蔵書検索・情報検索実習** ③経済学部分館が誇る**武藤文庫の見学**です。

経済学部生は、1年次から片淵キャンパスで週2回の専門科目の授業が実施されており、経済学部分館の利用方法を早い時期から熟知しておくことは、たいへん重要なことと思われます。

また、学生・先生方のご要望にお応えして、今年4月より情報メディア基盤センターの**ID/パスワードの発行**を開始しましたが、結果的に分館でのガイダンスを円滑に実施できる1つの要因となりました。
(経済情報担当)



各種ガイダンスを随時開催！

図書館では、年間を通して各種のガイダンスを開催しています。

オーダーメイド式のガイダンスですので、内容・開催日時等はお相談に応じます。お一人での参加も歓迎いたします。

授業やグループ学習での資料作成などにご活用ください。

実施ガイダンス例

卒業論文作成のための情報検索ガイダンス
(学部3・4年生対象 開催時間：1時間半)



何回でも
受けてね!!

お申し込み方法

図書館カウンターで、またはメールにて、下記事項を添えてお申し込みください。

申込者氏名／希望日時／学部学年／参加人数
電話番号／メールアドレス／受講希望内容

中央図書館：sanko@lb.nagasaki-u.ac.jp

医学分館：medinfo@lb.nagasaki-u.ac.jp

経済学部分館：ecoinfo@lb.nagasaki-u.ac.jp

ガイダンスで使用したテキストは、下記の図書館HPからダウンロードできます。ぜひご活用ください。

「図書館HP(<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp>)」→「サービス案内」→「図書館ガイダンス案内」

使ってみよう

論文作成に役立つ

データベースのご紹介 ①

<その1>

欧文の学術文献を検索できる

SCOPUS

SCOPUS(スコーパス)とは…

世界4,000以上の出版社が提供する15,000誌以上の学術雑誌から、約2,700万件の抄録と10年分の参考文献を検索できる、書誌・引用データベースです。



- 化学・物理学・工学・ヘルスサイエンス・社会科学・心理学・経済学・生物学・環境科学分野などの幅広い分野を網羅
- MEDLINEのデータを100%カバー
- 長崎大学が契約している電子ジャーナルであれば、本文へのリンクあり

『図書館HP(<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp>)』 → 『データベース』 → 『SCOPUS』

Scopus利用講習会を開催

6月13日(火)に、『Scopus』を提供しているエルゼビアより講師を招いて利用講習会を開催いたしました。3キャンパスで開催したところ、計46名の方にご参加いただきました。



<その2>

日本の学術文献を検索できる

CiNii



CiNii(サイニー)とは…

学協会誌・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベースサービスです。

- 検索された論文の引用文献情報をたどれる
- 一部の有料雑誌の本文も利用できる
- サイトライセンス個人IDを取得すれば、自宅からも利用可能
- ※IDがなくても、自宅からの論文検索・無料雑誌の論文利用は可能です

『図書館HP(<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp>)』 → 『データベース』 → 『GeNii(学術コンテンツ・ポータル)』

長崎大学の先生方が書かれた本をいただきました (平成18年1月～平成18年6月分)

楊 曉安 大学教育機能開発センター教授

- 中日両言語の比較研究：音声・文法・語義関係について / 楊曉安著 — 共同文化社, 2006.4
〔中央図書館 801.09 | 2006 1512378,1512379〕
- 白河方言研究 / 楊曉安著 — 共同文化社, 2005.1
〔中央図書館 828 | 2005 1512380,1512381〕
- 汉语散点透视 / 楊曉安著 — 共同文化社, 2004.1
〔中央図書館 820.4 | 2004 1512382,1512383〕

宮原 彬 留学生センター元教授

- 留学生のための時代を読み解く上級日本語：読解から会話、作文へ / 宮原彬編 — スリーエーネットワーク, 2006.3
〔中央図書館 810.7 | 2006 1512384〕
- 日本語学習者が作文を書くための用例集 / 宮原彬著 — 凡人社, 2006.4
〔中央図書館 816.8 | 2006 1832183〕

長崎大学医学部

- 長崎大学医学部：卒業記念アルバム / 長崎大学医学部[編] — [長崎大学医学部], 2005
〔医学分館 740 | 2005 2133669〕

中央図書館の工事について（お知らせとお願い）

1. 図書館南側への新築建物の建設工事および関連工事

中央図書館の南側に、放送大学と長崎大学が合同で校舎を建設します。

新しくできる校舎の概要は以下のとおりです。

- 1階 放送大学長崎学習センター玄関・ピロティ
- 2階 長崎大学附属図書館増築部分（パソコンコーナー・学生談話コーナー）
- 3・4階 放送大学長崎学習センター

この工事に関連して、現在の附属図書館の南側の庇や壁の一部を取り壊します。養生により南側の窓などが塞がれるとともに、大きな騒音、振動等が予想されます。そのため、工事の内容によっては臨時休館いたします。利用者の皆様には多大なご不便とご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、休館予定は工事の進行に合わせてお知らせしますのでご注意ください。

2. アスベスト撤去工事

中央図書館の一部にはアスベストを含有する建材が使用されております。検査の結果、浮遊は認められず、現状では危険はありませんが、本年度中に撤去作業を行います。

工事に合わせて、中央階段室、雑誌書庫、南書庫等を順次閉鎖または部分閉鎖いたします。特に、雑誌および旧師範の資料について、利用にご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。こちらも、利用できない場所と期間について順次お知らせいたしますのでご注意ください。

● 情報スクランブル ●

中央図書館からのお知らせ

中央図書館は、工事のため、下記のとおり臨時休館します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

夏休みの課題に必要な図書は早めに借りておきましょう。

なお、7月28日からは、夏休みの特別貸出（返却期限10月16日）となります。

臨時休館 8月12日(土)～31日(木)

* 工事の状況により、9月以降も臨時に休館する場合があります。

医学分館からのお知らせ

昭和39年度卒業生の皆さまからの寄付により「三九文庫」を開設しました。階段上り口にコーナーを設けています。CD-ROMやDVDなどの視聴覚資料が多数揃っている他、電子ブックなどもあります。どうぞご利用ください。詳しくは医学分館HPをご覧ください。

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/ml/index-j.html>



経済学部分館からのお知らせ

経済学部分館では、今年4月より、**新着図書**、**本学部教員著作**、**シラバス掲載図書**、**数学資料**、**卒業論文・レポート作成支援資料**、**就職・進学支援資料**、**資格検定関係資料**、**ベストセラー**の各コーナーを、入館口すぐの目立つ書架にまとめて新設しました。

また、**館内掲示の新規設置**、**情報メディア基盤センター設置**、**端末のID/パスワードのカウンターでの発行**も開始しました。今後ともみなさまのご要望を伺いながら、利用しやすい図書館に整備していきます。どうぞ、経済学部分館をご利用下さい。



和華蘭の窓 長崎大学附属図書館報 No.98 2006年(平成18年)7月31日発行

編集責任者 長崎大学附属図書館広報WG総合責任者 学術情報部学術情報サービス課長 能村浩次
館報編集担当 志波原智美・松山 晶・森石みどり・浦さやか・松田 綾・山本知美
発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14 (095)819-2193(総務担当)
附属図書館ホームページアドレス <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>
図書館報アドレス <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/kanpo/>